

Bluegourds Diary

Bluegourd の日記・雑記・愚痴…です。

DP-7050…OSコン投入、他。

| 2012.07.31 Tuesday | [オーディオ](#) | [23:46](#) | [comments\(4\)](#) | [trackbacks\(0\)](#) | - | - | by [Bluegourd /へうたむ](#)

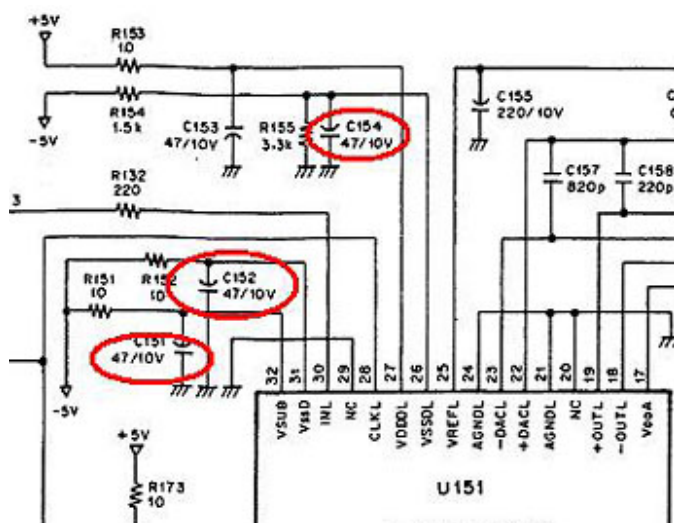
日曜日、ケンウッド DP-7050の、デジタル系電源のデカップリングを少し交換。

以前から懸案の、TDA1547のデジタル電源 VDDD、VSSDは、データシートで10Ω + 0.1μFのところ、Cがあまりに小さいので、30mA近く流れる電源でもあり、10μF以上にしたほうがいいのか、という件。

加えて、他のデジタル系チップのパスコンも、フィルムだけなので、電解にしたほうが、と考えてきた。

TDA1547に関しては、にっぱーさんの[ブログ](#)に、マランツ CD-17Dの TDA1547付近を撮った写真があり、固体コンがデジタル電源ピン近くに4本見えるので、デジタル系パスコンか、と思い、\$2.00でサービスマニュアルを買って確かめたが、これはアナログ系パスコンで、デジタル電源はチップコンだけのようだ。

そのあと、TEACの VRDS-20、VRDS-10、VRDS-10SEのサービスマニュアルを、立て続けにタダで入手でき、これらはみな、チップコン指定箇所に47μFの電解を使っていた。



ることにより音質向上を図ったダブル・ディファレンシャル・モードとしています」。

VRDS-10、20は、ノイズシェーパー:SAA7350は1基、そこから2基の TDA1547に信号を分けているが、VRDS-10SEは、SAA7350からして左右チャンネルに分けて2基使っている。さらに、オペアンプ出力ではあるが、オペアンプを1基よけいに、DCサーボとして、カップリングCはなし、の贅沢出力である。

今回の件には関係ないが、同価格の‘SE’なのにこの‘ありえねー’ゴージャスぶりにはびっくりした。

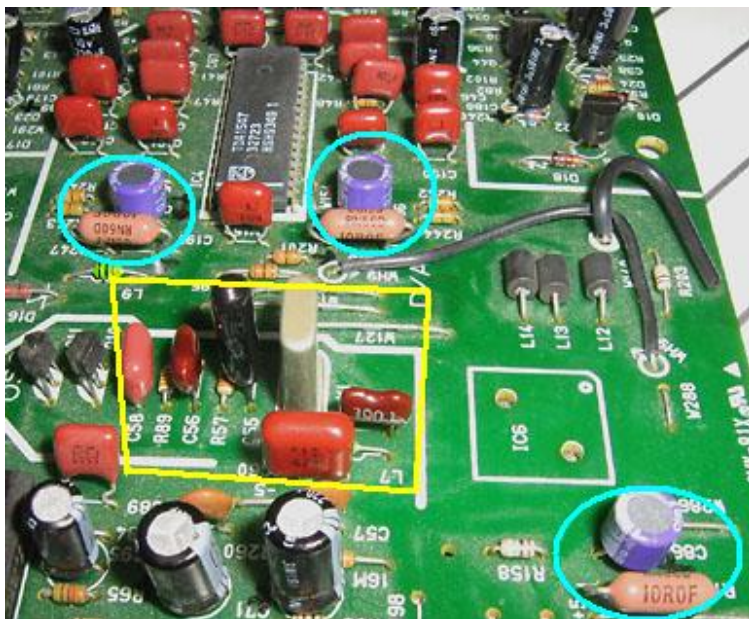
なお、マランツ CD-17系は、TDA1547は左右共用なのだが、デジフィル&ノイズシェーパーには、PHILIPSの‘最終デジフィル’=TDA1307が用いられている。

さて、こんなものから見ると DP-7050は、いわば最もシンプルな、SAA7350+TDA1547の「評価ボード」みたいな観がある。

それだけにパーツ交換で、DAC7の味がダイレクトに出てくるのでは、と、TEACの回路に安心して、VDDD、VSSDのデカップリングを、DP-7050原設計の15Ω + 1μFから、10Ω (DALE RN60) + 10V56μF (OSコンSP)にした。

SAA7350の電源も、15Ω + 0.47μFを、10Ω + 56μFとした(下写真、青い○で囲み)。

クロックのコンデンサーも、0.47μF以外は、ディップマイカとPPSフィルムに換えた(下写真、黄色枠内)。



でー出てきた音は、(きゃーるさんの予言的ちう〜^^;ノ?)クッキリハッキリ、キツイと言っていい音質になってきている。

高音の曇った感じが皆無になった、という感触で、これ自体は正しい方向だと思う。

高域の味わいは、まだまだアニメ的なのっぺりした状態で、オーケストラを再生した場合の、弦のユニゾンの粒だちは聞こえてこない。

TDA1547のアナログ系のパスコンや、DAC、オペアンプ含め、LPFのコンデンサー類はまだ一切触っていないのに、これだけ変わるとは、いつものことかもしれないが、驚いてます〜。

ツイート



チェック

シェア

< 0

DP-7050、ようやく着手〜;;。

パソコン (29)

音楽 (28)

愚痴 (28)

交通 (1)

雑記 (67)

社会 (31)

本 (10)

archives

November 2015 (4)

October 2015 (4)

September 2015 (6)

August 2015 (11)

July 2015 (5)

June 2015 (6)

May 2015 (10)

April 2015 (6)

March 2015 (10)

February 2015 (11)

January 2015 (11)

December 2014 (11)

November 2014 (2)

October 2014 (5)

September 2014 (7)

August 2014 (11)

July 2014 (9)

June 2014 (7)

May 2014 (10)

April 2014 (10)

March 2014 (11)

February 2014 (8)

January 2014 (8)

December 2013 (2)

November 2013 (2)

October 2013 (3)

September 2013 (5)

August 2013 (7)

July 2013 (3)

June 2013 (6)

May 2013 (10)

April 2013 (5)

March 2013 (5)

February 2013 (8)

January 2013 (3)

December 2012 (4)

November 2012 (7)

October 2012 (5)

September 2012 (5)

August 2012 (4)

July 2012 (8)

June 2012 (6)

May 2012 (7)

April 2012 (6)

March 2012 (8)

February 2012 (7)

January 2012 (7)

December 2011 (6)

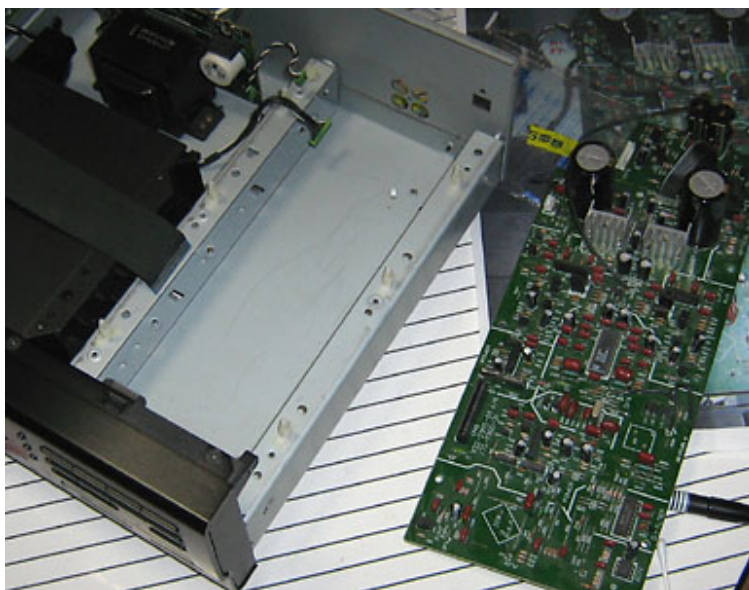
November 2011 (7)

October 2011 (8)

September 2011 (5)

| 2012.07.24 Tuesday | [オーディオ](#) | [00:15](#) | [comments\(4\)](#) | [trackbacks\(0\)](#) | - | - | by [Bluegourd /へうたむ](#)

昨日(日曜)の夜、やっと DP-7050の部品交換に取りかかり、初めて基板をはずしてみた。



D/A変換～アナログ・アンプ基板は、3つのコネクタがささっており、6本の樹脂ピンで止めるだけで、ビスはリアパネルと光出力モジュールをとめる1本だけ。

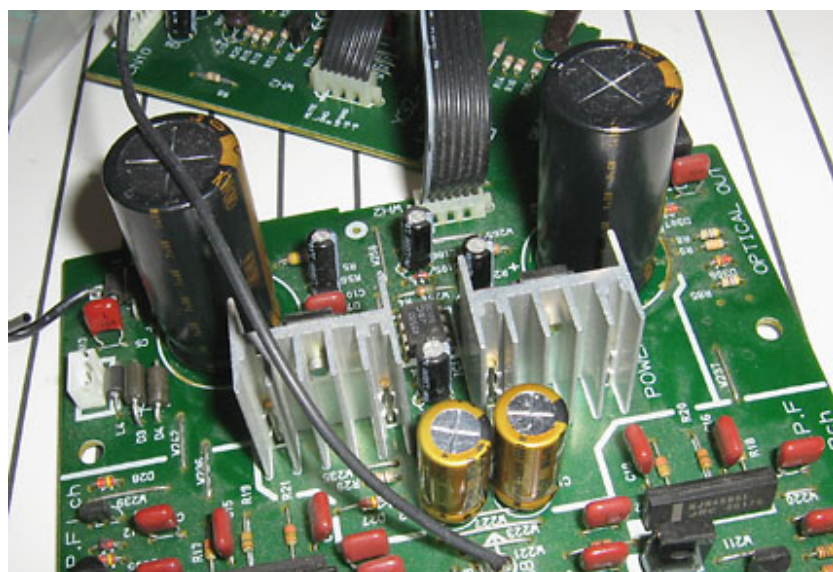
基板の下にある、出力基板とのコネクタは両端ともハンダづけされていて分離できず、いっぽうヘッドフォンアンプ基板から出力基板に来ているコネクタははずせるので、ここをはずし、基板2枚を連ねて取りはずす。

CD2300、CD60000SEよりもはずしやすい。

主基板の下には、この出力基板が、RCAピンジャックのビス1本だけでリアパネルにとめてあり、堅牢とはいえないが、簡易に付けはずしできる。

‘階下’部分は出力基板しかないの、あとはガランドウ、20年分の埃 — といってもそう大した量ではない — が溜まっていたので、軽く掃除機で吸いい～ん♪

ゆうべは、メインの平滑コン、整流ダイオード、アナログアンプのパスコンを交換したところで午前2時になったので、今日の仕事も午後からあるので、店じまいした。



メインの平滑コンは、もう書いたとおり、ELNA FOR AUDIO 35V3,300 μ F \times 2、これをニチコン KW 35V6,800 μ F \times 2に。

付いていた FOR AUDIOは ϕ 25mmのスナップイン端子品なので、 ϕ 20mmの KWのほうが、容量は倍以上だが貧弱に見える。

FOR AUDIOは、外にハミ出していないけれど底面が接着されていて、はずれにくかった。

September 2011 (0)

August 2011 (6)

July 2011 (6)

June 2011 (4)

May 2011 (5)

April 2011 (6)

March 2011 (9)

February 2011 (9)

January 2011 (8)

December 2010 (8)

November 2010 (3)

October 2010 (6)

September 2010 (2)

August 2010 (8)

July 2010 (4)

June 2010 (5)

May 2010 (6)

April 2010 (6)

March 2010 (15)

February 2010 (9)

January 2010 (5)

December 2009 (8)

November 2009 (6)

October 2009 (5)

September 2009 (6)

August 2009 (4)

July 2009 (7)

June 2009 (1)

May 2009 (7)

April 2009 (2)

March 2009 (11)

February 2009 (5)

January 2009 (9)

December 2008 (6)

November 2008 (4)

October 2008 (4)

September 2008 (4)

August 2008 (2)

July 2008 (1)

June 2008 (3)

May 2008 (2)

recent comment

消費の嵐;…。

⇒ [へうたむ \(11/18\)](#)

消費の嵐;…。

⇒ [元新潟のU \(11/17\)](#)

インターネット接続不可!!

⇒ [へうたむ \(11/13\)](#)

インターネット接続不可!!

⇒ [元新潟のU \(11/13\)](#)

CDP-XE700、完全停止。

⇒ [へうたむ \(11/13\)](#)

CDP-XE700、完全停止。

⇒ [元新潟のU \(11/10\)](#)

パソコン、満14歳 & CDP-XE700またストップ…。

⇒ [へうたむ \(11/09\)](#)

パソコン、満14歳 & CDP-XE700またストップ…。

⇒ [元新潟のU \(11/09\)](#)

デフォルトの整流ダイオードは、たぶん1A定格の汎用品だと思われるが、鉄リードだったのにはややがっかりした。ダイオードで鉄足はむしろ珍しい。

これを、日本インターのショットキー 21DQ10に換える(左の平滑コンの左側、陰になったところ)。

アナログアンプ電源+/-13Vは、下流がデジタル系チップ用+/-5V電源として流れていくが、この大元の、オリジナルは日ケミ SME 16V330 μ F \times 2を、ニチコン FG 16V470 μ F \times 2に、増量&アップグレードした。

とりあえずここまで。この段階で音出しをしてみると、これだけでも音のベールが1枚はがれたような印象で、導入後デフォルトでの、モヤつきすぎた感じはかなり後退している。



グールドの弾くブラームス:『間奏曲』(写真、右手前)は — 交換前より若干色気が出てきた。それでもまだCEC CD2300(改)のほうが美しい余韻が聴ける。

かなり変化したと思ったのが、ヨッフム/ドレスデンのブルックナー:交響曲第7番第2楽章冒頭(左のボックス)。

デフォルトでは、お団子の上にベールがかかった感じで、ステージの前後の拡がりが全くなかったのが、ずいぶん広がってきた。

これも CD2300のほうが、高弦に輝きがあるが、弦の全帯域にわたる実体感 DP-7050のほうが充実した趣きがある。

『YUJI PLAYS BACH』(右奥。Pf.:高橋悠治、DG国内録音、1975年)は、同時代のドイツ録音の、たとえばポリニーなどと比べると、音場感なし・お団子・音の実体感ボケ…などなど、デジタル録音開始間近なのに、日本の録音技術・センスの後進性を感じさせる音だ。

いつもよく聴く「主よ、人の望の喜びよ」を聴いた。なかなか「聴ける」音になってきている。

高域がロールオフした感触がずっと後退し、このまま「私流」改造を加えると、またキツくなって元の黙阿弥、ではないか、などとも心配…。

しかし、とにかく「DAC7」の基本クオリティ、テイストが少し出てきた感あり、でした。

ツイート チェック シェア 0

DP-7050、OSコン追加構想…。

| 2012.07.20 Friday | [オーディオ](#) | [07:23](#) | [comments\(6\)](#) | [trackbacks\(0\)](#) | - | - | by [Bluegourd /へうたむ](#)

… DP-7050の部品交換にはまだ手が着けられないでいるが…。

DAC・TDA1547のデジタル主電源(VDDD、VSSD)のデカップリングには、元設計では15 Ω

パソコン新調、取りやめ。

⇒ [へうたむ \(11/08\)](#)

パソコン新調、取りやめ。

⇒ [なつ \(11/07\)](#)

recent trackback

佐村河内物語

⇒ [節操のないクラシック音楽嗜好 \(04/01\)](#)

ブログが真っ白！(◎o◎:)

⇒ [Eternal-kindness \(02/09\)](#)

本の処分、残った本…。

⇒ [哲学はなぜ間違えるのか？ \(04/18\)](#)

recommend



はてしない物語 (JUGEMレビュー) »

ミハエル・エンデ

“虚偽”の時代への警鐘!

recommend



ライヴ・イン・コンサート 1991 (JUGEMレビュー) »

内田光子, モーツァルト

神韻縹渺。

recommend



Symphony 7 (JUGEMレビュー) »

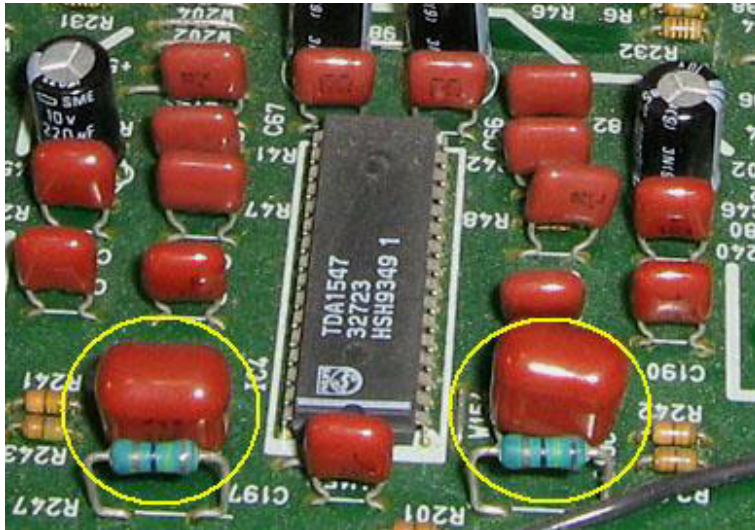
Bruckner, Berlin Philharmonic Orchestra, Wand

やっぱりこれは、音楽の世界遺産!

recommend



のデカップリング抵抗を直列に介して、 $1\mu\text{F}$ のフィルム(多分積層ポリエステル)だけでバイパスしている(下写真、黄色○内)。



このコンデンサーは電源パスコンとしては小容量過ぎるけれども、TDA1547のデータシート・アプリケーションでは、 10Ω のデカップリング抵抗のあと、 100nF の chip capacitorだけが指定されている。

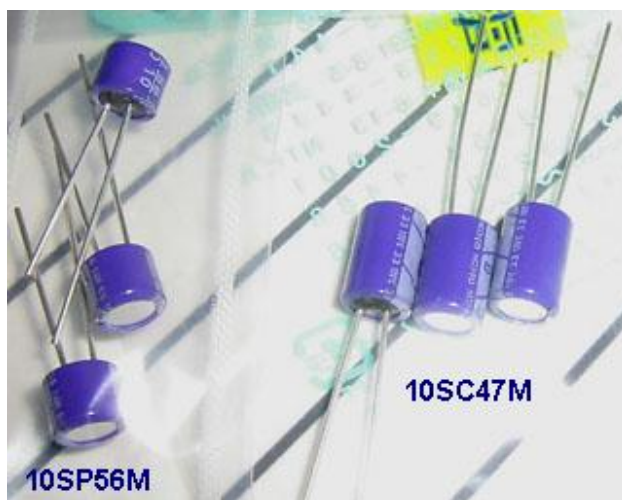
$100\text{nF}=0.1\mu\text{F}$ だから、 $1\mu\text{F}$ でもオーバークオリティということになり、交換の必要はとりあえず、ない(DP-1001も同じ仕様のはず)。

しかし、このピンの電流は、 $\text{IDDD}=29.0\text{mA}$ 、 $\text{ISSD}=-28.0\text{mA}$ となっていて、そこそこ電流が流れるのである。

というわけで、ここを少し大容量にしてみようということで、OSコンにしてみようか、と。

デジタル系ICの電源パスコンも、原設計では電解を使わずにフィルムだけとしているのだが、これらの増量用として、すでに OSコンSP(銅足) $10\text{V}56\mu\text{F}$ (定格リップル 1710mA [$100\text{kHz}\leq f\leq 500\text{kHz}$])を3本買ってあるが、OSコンSCの $10\text{V}47\mu\text{F}$ (定格リップル 2020mA [同])を買い足した。

フィルム1本の置き換えなので、反共振を避けるために並列のチップ・セラコンをはずしたりする手間もない(デジフィルのパスコン1本は撤去予定)が、極性を確認する必要がある。



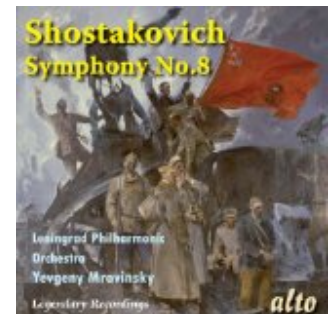
OSコンSPを TDA1547のほうに、SCを純デジタル系ICのほうに回そうかな、と…。DAC7の信号のダイアグラムとしては、デジフィルでまず8倍オーバーサンプリング $=352.8\text{kHz}$ となり、ついでノイズシェーパー SAA7350でその24倍(データシートには「 $24\times$ upsampling」とある) $=8.47\text{MHz}$ に上げられ、TDA1547に入る。

TDA1547は、マランツのSACDプレーヤー [SA-1](#)に使われているように、DSD信号のD/A変



チャイコフスキー：交響曲第6番 短調「悲愴」(JUGEMレビュー)》
ベルリン放送交響楽団、チャイコフスキー、フリッツ・チャイ(フェレンツ)
※クラシックで1枚、といったらコレ!!

recommend



Symphony No. 8 (JUGEMレビュー)》
D. Shostakovich
ムラヴィンスキー/レニングラードの決定盤!!
求めやすい alto盤が、
Amazon.co.jpにも入りましたので、入替えておきます^^。

recommend



しのびよる破局 生体の悲鳴が聞こえるか(角川文庫)(JUGEMレビュー)》
辺見 庸
ちょっと読みやす過ぎるのが難点ですが、まことに直截!

recommend



換にも使えるチップであり、古いわりにモダン(?)なのである^^。

この辺のチップ群のシステムクロックは16.9MHz(マスタークロックの周波数)となっていて、全体にポリエステルだけでは、容量と高周波特性の両面で、若干心許ないというところがある — もちろん、ポリエステルでもMHz帯域まで機能はするはずなのだが。

Cの増量とともに、デカップリング抵抗もデータシートどおりの10Ωにしてみる予定(DALE RN60を購入)。

さてさて……。

ツイート



チェック

シェア

0

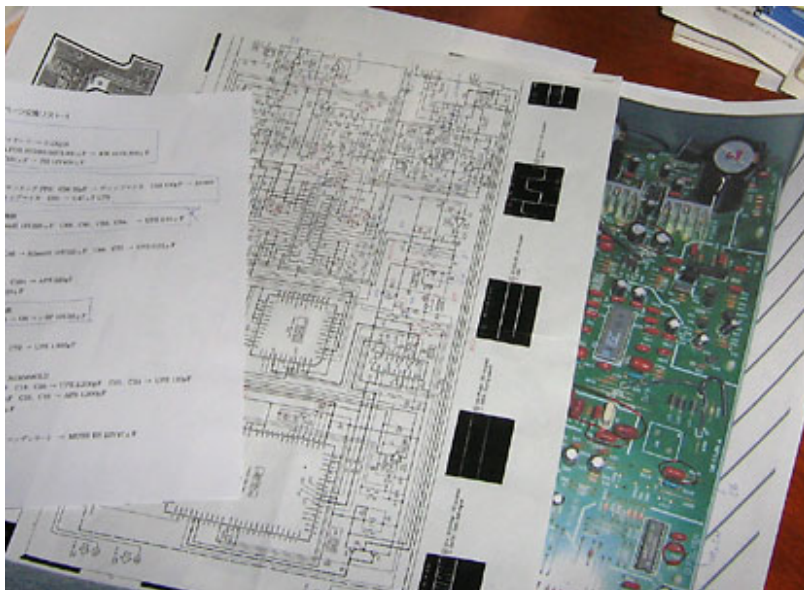
DP-7050、改造手つかず…。

| 2012.07.16 Monday | [その他](#) | [03:45](#) | [comments\(3\)](#) | [trackbacks\(0\)](#) | - | - | by [Bluegourd /へうたむ](#)

しんどい～……。

今日あたり DP-7050の、最初の部品交換をちょっと、と考えていたけれど、シンドすぎてやめ。

暑さ、より、慢性的にカラダがしんどい。晩メシ炊いて、食べて……でまた朝近くまでネット、になるのだが…。



DP-7050の部品交換は、全回路図・部品交換計画表・基板全体写真、と、‘図面’は揃った。

ここから、最初に手を着けるときの心理的シンドさ、億劫さは、いつもながらハンパではない。

改造癖のように思われておかしくないビヘイヴィアーであることは確かだが、あるところコメントを差し上げたりコメに、「修理まで手がけるようになれば、副業にもなりますよ♪」というような、恣憑とも揶揄とも取れるご返答をいただいちゃう。

私のような者がお人の機器に手を入れるなどは、まずはとんでもない行為だ。現状以上に悪くしないように、外装もきずつけず、デジタル系プレーヤーなら、メカ・制御系・デジタル系・アナログ系と、全般にわたってきっちりした知識があり、サービスマニュアルや補修パーツを手に入れる人脈もなくてははいけない。

きちんとした修理施設(部屋)と測定器類も必須だし、そのためには、その業界で数十年働いてきたキャリアは必要だ。



風邪の効用(ちくま文庫)(JUGEMレビュー »)

野口 晴哉

やっぱりこれは入れておかないと…。

recommend



野生の哲学—野口晴哉の生命宇宙(ちくま文庫 な 38-1)(JUGEMレビュー »)

永沢 哲

全体の創始者・野口晴哉の核心に初めて思想研究として迫った力作!!

recommend



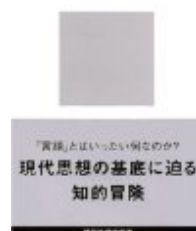
「ひきこもり」だった僕から(JUGEMレビュー »)

上山 和樹

‘本館’に所感をアップしてます(^.^)。

recommend

言葉と無意識
丸山圭三郎



言葉と無意識(講談社現代新書)(JUGEMレビュー »)

丸山 圭三郎

小冊子ながら、限らない示唆に満ちた名著!

ことほど左様に、電灯線100Vが入る電子機器=家電製品をいじるということは、コワイことなのである。

ところで、その電灯線100Vが、値上げされる。

東京電力の値上げは、福島第一原発の事故の補償に充てる、という大義名分がある。

これについては、相反する二つの方向の感触を持つ。

何が何でも値上げ反対の感情論は、被害者の迅速な救済を妨げる、という視点から、黒川 滋氏が述べていることは、理解はできる。が、同時に感情的にキョーレツな抵抗感があることも確かだ。

ここで‘理解できる’のは、「首都圏で自覚なく電気を使ってきた人たちのツケと反省を行うべきときではないかと思う」という部分だ。

他方、“事故を起こし、その補償の必要が生じたため、顧客に負担を求める”というのは、他の業種ではどのような事態に当たるのだろうか、と考える。

・「食中毒を起こした飲食店が、被害者への補償額をまかなうために価格を上げる。」

・「墜落事故で多額の補償額が発生した航空会社が、それに充てるために運賃を上げる。」

単純すぎるシミュレーションだが、とりあえずこうなる。

ポイントは、事故前・事故当時・事故後の、東京電力の責任が、余すところなく解明され、指摘される、ということに尽きる。

このたいへんな作業に、少なくとも民放テレビ各局は、全く信用できない。

今さっき、食後にテレビをつけると、日テレ系とTBS系のドキュメンタリー番組をやっていて、日テレ『NNNDキュメント'12』のほうは、‘規制緩和’の結果、過当競争の渦の中で低運賃運行を競わせられる貸切バス業界の生んだ悲劇を描いていた。

ツアー会社が観光庁に寛容な処分を求めた文面に、業務停止処分を受けると被害者への補償が滞る、としたものがあり、被害者遺族は、自分たちを盾にされたようで強い憤りを覚えた旨、述べていた。

このことは、上の、東電の値上げの論理にも通ずるところがあるのではなかろうか。

こういう番組こそ、民放であれ、テレビという「公器」がもう少し早い時間帯に、しかももっと多く提供されるべきもののなのに、申しわけないどに日曜深夜に1番組。

消費税アップは、藤井→野田路線で、当然のように決まってしまう、これも東電値上げと同じく、「被災地復興も財政再建もあるから仕方がない」という市民感情から、みんな納得してしまいそう。

そもそも、政権交代時の(国民の側の)動機が、あまりに長期で沈滞腐朽し過ぎた自由民主党政権から‘水を流す’という目的だったもので、‘よりよい水に入れ換える’というものではなかったから、政権交代直前のテレビの政治番組でも、「民主党に政権が移ったら」のアンケートに対して、きわめて多数が「あんまり変わらない」と答えて、自民、民主両党の有力議員が爆笑していたのだった。

民主党のアーカイブ・ページ『マニフェスト/政策集[資料]』に置かれている『政策集INDEX2009』(PDF)には、「消費税に対する国民の信頼を得るために、その税収を決して財政赤字の穴埋めには使わないということを約束した上で」・・・『具体的には、現行の税率5%を維持し、税収全額相当分を年金財源に充当します』。加えて、「インボイス制度を早急に導入することにより、消費者の負担した消費税が適正に国庫に納税されるようにします」という、たいせつな言説があるけれど、最近のニュースは触れもしない。

野田佳彦という人物の尋常の域を出た倣岸ぶりを見ると、政権交代直前の、‘民主党の政策に対する選挙民の期待・信頼の薄さ’をじつによく察知していたと思える。

小沢新党の「国民の生活が第一」という名称は、いわば、「私(たち)も政権を奪取すれば、

recommend



シンクロニシティ (サンマーク文庫—エヴァ・シリーズ) (JUGEMレビュー »)
F.デヴィッド ピート
‘シンクロニシティ’を可能なくぎり、‘トンデモ’から離れて説いた良心的な一書。

recommend



高学歴ワーキングプア「フリーター生産工場」としての大学院 (光文社新書) (JUGEMレビュー »)
水月 昭道
批難ゴウゴウの本でもあるが、やっぱり支持。

links

JUGEM
User Template File
モノコレ
トラックバックBOX
カラメルでお買い物！

profile

Bluegourd /へうたむ

search this site.

others

管理者ページ
RSS1.0
Atom0.3

mobile



あの民主党のようにやりますよ」ということの、見え過ぎる暗号的布陣にほかならない。

小沢氏にくっついて憂国の士のごとくふるまう‘小沢チルドレン’たちは、「もう私たちはこのようにふるまっていなのだ、これが政治家なのだ」という意識を丸出しにしている。

・・・政界は、「ステーツマン」の演技に集注する「ポリティッシャン」たちに支配されている、というのが率直な印象だ。

が、原子力発電依存と同様、これも戦後日本国民が約70年にわたって‘実印’を押し続けてきたことなんですかあ～。

おっと、トピックが「オーディオ」なのやら「社会」なのやらわからなくなってしまったけれど、つまりはこれが暮らし、ということなのである。

ツイート

 チェック

シェア

0

powered

POWERED BY JUGEM



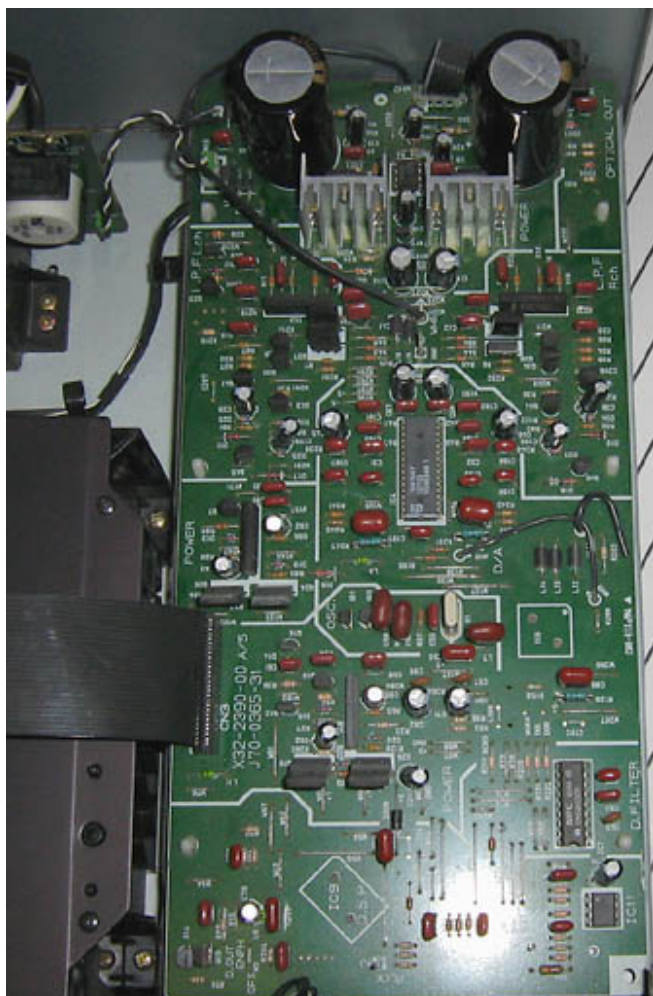
DP-7050、部品交換計画－現状写真。

| 2012.07.10 Tuesday | [オーディオ](#) | [01:03](#) | [comments\(4\)](#) | [trackbacks\(0\)](#) | - | - | by [Bluegourd](#) / [へうたむ](#)

昨日(日曜)は、前夜から明け方までフリーのファイアウォール・ソフトを試してすったもんだし、昼間に6時間ほど寝て夕刻起きたので、DP-7050の部品交換には手が着けられなかった。

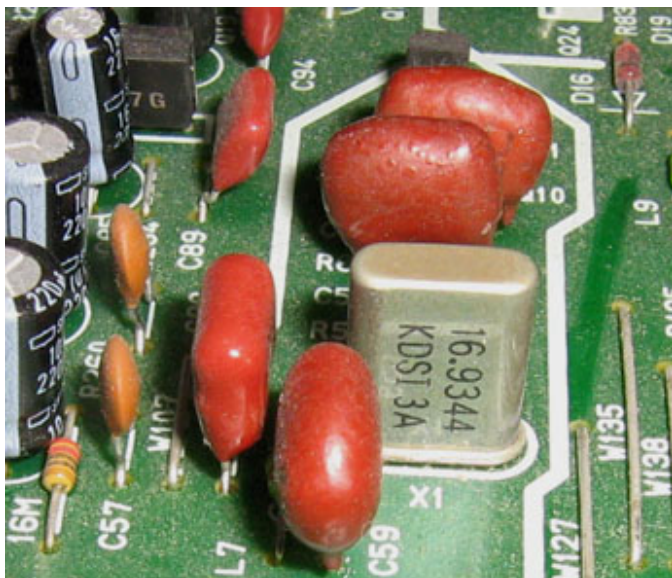
なお、結果的に、PC Tools Firewall Plusというのが合うようで、.NET Frameworkの入れ直しと相俟ってか、なかなか快調である。

で、部品交換の下準備として、基板のコネクターやなんかを確認しておこうと思い、フタをあけて写真を撮った。



上がD/A基板全体。

最後部に電源があり、アナログ・アンプ、DAC、デジタル系チップが表裏に乗る。



まず交換を考えているのは、電源のメインの平滑コンや整流ダイオード、それと、‘アドバンスト・ハイプレジジョン・マスタークロック’ と称する発振回路のコンデンサー。

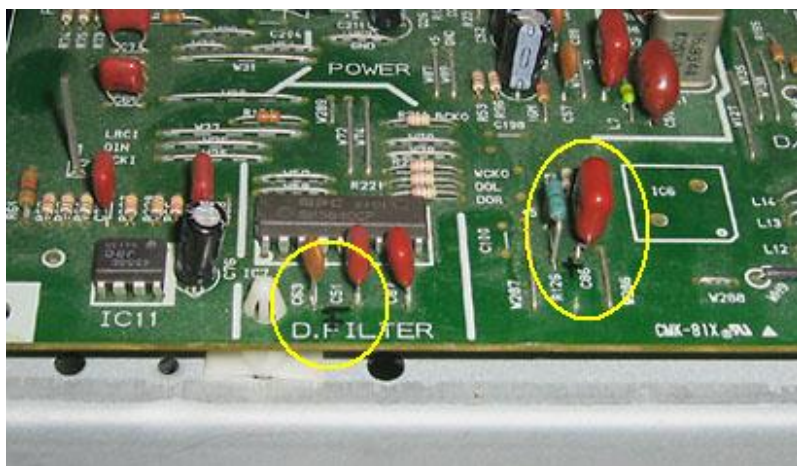
この上の写真に写るのが、発振子とそれに関わるコンデンサー群で、いちばん手前にあるC59と部品番号があるものが39pF、発振子の向こう側に見えるのが、33pFと100pF。

この辺は他の茶色いツヤのあるコンデンサーと違い、表面がややざらつき(経年変化かも)、容量の割りに大きい。

パーツ・リストには、他の多くが「MF」と記されているのに対して「FILM」としているの、ディップマイカではないが、ポリプロピレンかもしれない。

39pFと33pFはディップマイカにする。

この発振子は、1,000pFを介してFET 2石のゲートにつながっていて、FETが発振器を構成するみたいだが、SAA7350や SM5840CPIには発振子の反対側からラインが伸びている。こういう回路はさっぱりわからないが、高周波特性のよいコンデンサーに換えればジッターなども少しは改善されるだろう、と思っておく。



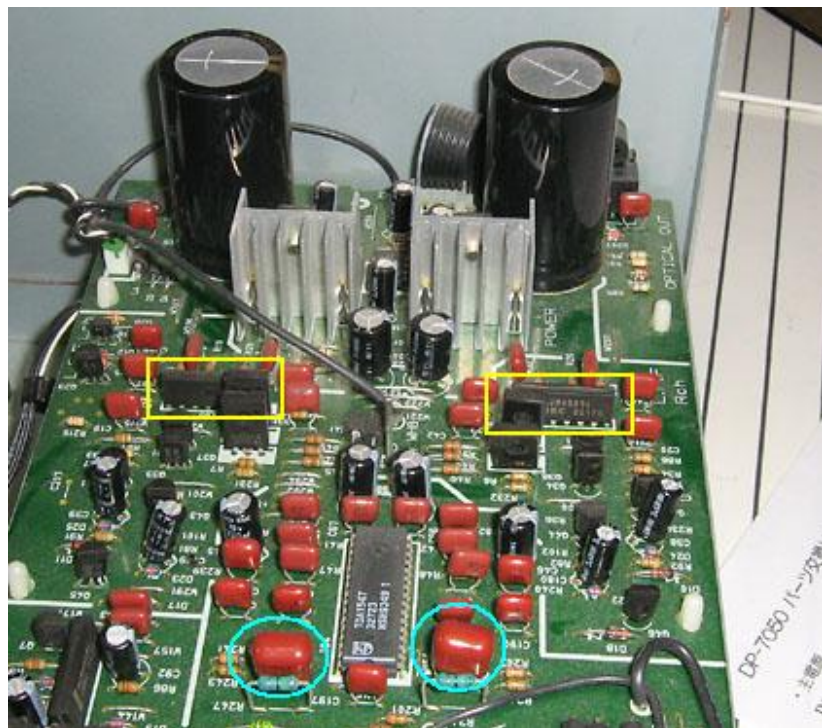
デジタル系ICの電源ピン直近のパスコンは、ケミコンを使わず、DSPや SAA7350Iには0.47 μ Fのフィルムコン各1本、SM5840CP(デジフィル)には、0.01 μ Fのフィルムと、同じ容量のセラミックをパラにしたものだけ、つまり0.02 μ Fだけ、という、「これで動くの？」的な小容量である。

ここを、高周波特性を保持したまま増量してみたいので、OSコンが最適かと考えた。

DACやオペアンプのアナログ電源には直結しないので、OSコンのクセも音に出にくからうと思う。

ただ、フィルムコンの穴ゆえ、基板に＋の表示がないので、通電して＋5Vが出るほうを確定し、反対側もシャーシと導通しているか(GNDであるか)をテスターで確認した。

＋側を油性ペンでマーキングしたのが、上の写真。これがうまくいくのかはわからないが、問題はないだろう。



こちらは、DAC＝TDA1547からSIP型オペアンプ(黄色い枠で囲んだ)、電源部を見たところ。

奥のメイン平滑コンは立派だが、6,800 μ Fの KWIに交換予定で、倍以上になる。

青い丸で囲んだのは、TDA1547のデジタル電源のパスコン。ここも電解は使わず、1 μ Fの、比較的サイズの大きいフィルムを＋両方に入れている。

これは立派だが、ポリエステルだと高周波特性に若干不安はあるけれど、ここはデフォルトのをしばらく使う予定。

全体に、茶色いフィルムコンばかりで、松下のポリエステルと思しいが、これだけフィルムが多いのは壮观だ。

20年前で、まだ表面実装パーツが主流になる前ということもあるかもしれないが、音に関わるこちらの基板にはセラミック・コンデンサーは非常に少ない。

未改造のままで、この1週間もPCのなつが～いインストール待ちの間などにけっこう聴いたが、だんだんしっくりしてきた感じはある。

曇った音ながら、アナログ音の生成に無理をしていない余裕感といったものがある。はてさて。

※月曜未明にアップのつもりだったが、JUGEMのメンテナンスでアップできませんでした。ふつう、メンテ時は閲覧もできなくなりますが、JUGEMは閲覧はできました。これは良心的。

ツイート



チェック

シェア

0

DP-7050、部品交換計画(だけ^^)完成。

| 2012.07.07 Saturday | [オーディオ](#) | [05:39](#) | [comments\(4\)](#) | [trackbacks\(0\)](#) | - | - | by [Bluegourd /へうたむ](#)

この1週間は、事実上まるまる休みだったのだが、前記事のとおり、Windows上の「.NET Framework」なるコンポーネントのお蔭で、3～4日はツブされてしまった。

もっとも、まんざら嫌いでもないPC弄りなので、割合いけると、楽しみ 15%、焦燥 45%、不快 40%…といったところか。

この作業のせいにはできないかもしれないが、ケンウッド DP-7050の部品交換は、この休みにはできそうもない。

来週は、4～6月よりコマ数があり、ちょっとばかり仕事状態らしいことになるので、落ち着いて着手するには、8月後半（この時期には2週間ほど休みになる。‘夏休み’のつもりらしいが、予備校の、ていのいい人件費縮減にほかならない）になるかもしれない。

とりあえず、この1週間でパーツを揃え、昨日までに交換予定の部品一覧＝部品交換計画表を、Wordで作った。

DP-7050 パーツ交換リスト-1

・主電源

D1～D4 整流ダイオード → 21DQ10

C7、C8 Elna For Audio 35V3,300 μ F → KW 35V6,800 μ F

C11、C12 16V330 μ F → FG 16V470 μ F

・クロック

C55 1,000pF → サンリツ PPS C56 33pF → ディップマイカ C58 100pF → ECHS

C59 39pF → ディップマイカ C60 → 0.47 μ F UPZ

・デジタルローカル安定化電源

C51、C72 → SilmicII 16V220 μ F C89、C90、C93、C94、 → UPZ 0.01 μ F

・DAC電源

C43、C44、C45、C46 → SilmicII 16V220 μ F C56、C77 → UPZ 0.01 μ F

・DAC-1PF

C181、C182、C183、C184 → APS 220pF

C31、C32 → UPZ 820 μ F

・デジタルIC電源

C51+C53、C96、C79 → OS コン SP 10V56 μ F

・デコーダ-PII

C59 → UPZ 0.047 μ F C70 → UPZ 1,500pF

・アナログ1PF

IC2、IC3 NJM4565L → NJM4580LD

C41、C42 → UPZ 120pF C19、C20 → UPZ 2,200pF C23、C24 → UPZ 120pF

C17、C18 → UPZ 6,800pF C15、C16 → APS 1,200pF

C38、C39 → KW 25V47 μ F

・出力基核

C13、C14（カップリング・コンデンサー） → MUSE ES 25V47 μ F

回路図がないと、Cxx番とあってもどこのコンデンサーやらわからないのだが、まあいつものとおり、こんなことをしてから取りかかる。「貧男、差図を好む事」を地で行くのである。

で、以下が購入した部品群。一部は先に掲出済み。



今回、珍しいパーツは、手前右に写っているシングルインラインのオペアンプ。導電スポンジを敷いたケースには、私が入れた。

デフォルトで付いている NJM4565L の置き換え用の、NJM4580LD である。これは、オーディオ用によく使われる NJM4580D の低雑音選別品・NJM4580DD のシングルインライン版である。

変換基板を使って DIP 型を使う気は、とりあえず、ない。

たくさん買った東信 UPZ は、そうとう余りそう。

TDA1547 の出力は、「+(-)OUT L(R)」からの出力を、「+(-)DAC L(R)」に C+R を介してフィードバックする仕様になっていて、ここでも LPF になっているようである。

データシート・アプリケーションでは、 $13k\Omega + 220pF$ とで、この並列（と単純に考えていいかは不明…）では $55kHz$ くらいになり、データシートにもそう記載されているが、DP-7050 ではコンデンサーを $330pF$ としていて、これだと $37kHz$ カットオフになるはず。

この辺も、DP-7050 の音がニブい原因か、と思い、データシートどおり $220pF$ にしてやろうと思った。ちょうどくお気楽 DAC を作った時に試用してははずした APS が 4 ヶあった。が、これも新調しようかと思う。

で、とりあえずダイオード 4 本、ケミコン 17 本、フィルムコンデンサー 29 本。ふひ～、シンドそう…。

ツイート



チェック

シェア

0

.NET Framework のアップデート・トラブル

| 2012.07.05 Thursday | [パソコン](#) | [02:08](#) | [comments\(4\)](#) | [trackbacks\(0\)](#) | - | - | by [Bluegourd](#) / [へうたむ](#)

もう 4 ヶ月ほども、パソコンの Windows Update (今は Microsoft Update) をしていなかったの
で、ちょうど 1 週間ほど通常の仕事がないので、今がいいかとやってみた……ら! 35 本近くの
更新プログラムが上がっていて、なかば PC をほったらかしにしてメシの準備などしながら待
つつもりで取りかかり、かな～りたってから画面を見ると、「これらのプログラムはインストー
ルされませんでした」。

しかも、それだけではない、インストール失敗後、開いている IE8 の次の画面を開くと文
字化けだけでなく、枠も消え始め、タスクマネージャも起動しなくなり、あげくのはてには
Windows 終了プログラムのウインドウもサイズがおかしくなり、文字が消えている!

この時にはとにかく「R」キーを押すと、Windows は再起動し、問題は消えた。ただ、再起動

前の終了画面は、通常と違ってタテ3cm、ヨコ10cmくらいの窓に「ログオフしています」、
「Windowsを終了しています」と出る。明らかに、Windowsの状態がおかしくなっている。

いろいろググってみると、Microsoftが、Windows Updateの不具合を修正するための‘Fix it’というソフトを[提供](#)していて、DLしてやってみたが、また同じく Windows崩壊^{^^}。

検出・解決のログファイルまでHTMLで出力してくれたのに、である。ウインドウに見える、
レンチを持ったエンジニアさん、最初は頼もしかったが、「やっぱり、こんなアナログなエンジニア、ITには使いもんにならんよ」に。

インストール本数が多すぎるからかも、と、とりあえずは、セキュリティ更新関係のプログラム
ムだけ入れてしまいたかったんで、数本入れると、問題なく、入る！。

あつりゃ〜、なんだべ？

それを2回ほど繰り返すとともに、ググっていくと、どうも「Microsoft .NET Framework x.x」の
インストールやアップデートができなくなって困っている人が多いことが知れる。

.NET Frameworkを手動削除するには、[こちら](#)の「.NET Framework 2.0 を修復する」にある
とおり、[installer]を起動して、列に[コメント]を表示させ、コメントに表示される「Microsoft
.NET Framework x.x ナンチャラカンチャラ」から削除できる、とあるので見てみたら、「.NET
Framework ……」とのコメントのあるファイルがない!!

[プログラムの追加と削除]の一覧には、.NET Framework 2.0 3.0 3.5のサービスパック1と
かいうのが鎮座していたので、インストール情報が消えてしまっていたのかも。

このあと、[.NET Installation Cleanup Utility](#)を使って.NET Frameworkを全部アンインストール
してみた。

最後に、なんとアンインストール「failed」の表示が出たけれど、一覧からは消えたので削除
はできたんだろう。

最後の「failed」は、インストーラの情報が削除できなかった(存在しなかったから)ためかも
しれない、などと素人穿鑿をしている。

この時点で、セキュリティ関係のみアップデートして再起動すると、終了画面も通常だし、
何より、PCが速くなった。

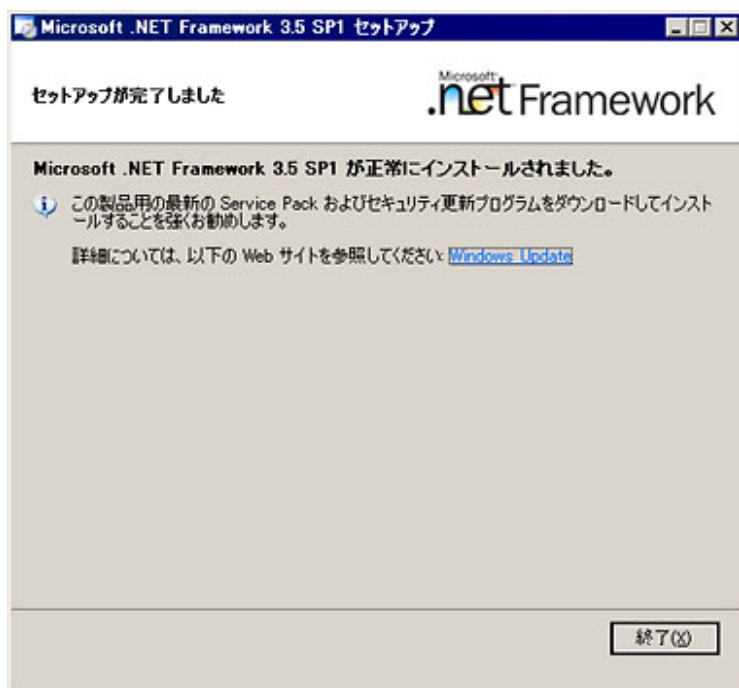
そして次は再インストールだが、メールでご教示くださった方もあったが、[こちら](#)の、マイク
ロソフト・中川氏の

「フルパッケージ版で試してみる／下記ページの“ダウンロードボタン”でダウンロードでき
るファイルではなく、ページの下の方にある“.NET Framework 3.5 Service Pack 1 (フルパ
ッケージ)”をダウンロードし、インストールしてみてください。」

が目につき、[ここ](#)にある「完全なパッケージ」からダウンロードした exe.を実行してみた。

DLに30分、インストに30分。ふっひ〜。

こんなに待ってもどうせ最後の場面で「インストールされませんでした」となって、またデス
クトップが崩壊するんだろうな〜、とイライラしながら待っていると、「正常にインストールされ
ました」!!



どないなってんねん、であるが、まずはOK。

このインストール時、最近の Windows Update サイトは、ユーザー設定のプロキシを無視するため、アップデートができないことが多い、と[こちら](#)にあるのを読んで、使っているウイルス・チェッカー、avast! のウェブシールドが、avast! の設定する仮想プロキシ内でウェブページのウイルス検査を行なう、というのを聞いていたので、ここもひっかかる(〜った)可能性があるな、と、コワイけれど、avast! と ZoneAlarm を PC の再起動まで止めた上で、インストール・ボタンを押した。

上のページによれば、「proxycfg」というプログラムが使えるみたいだが、とりあえずブラウザは利用しないし、.exe は Microsoft のサイトにしか行かないだろうし、と、もう.exe がやりたいようにやってね〜状態で待った。

この次がまたたいへんで、Microsoft Update をかけると、.NET Framework 用の更新プログラムが、まとまったパックを先ずインストールせよと出てきて、インストール…成功。そのあと 12 本〜。

もう朝になっていたが、単発の仕事が夜 1 コマだけなので、ワインの酔いも醒めつつ、ひたすら待つ。

この待っている間に、夜も明けているので、DP-7050 をけっこう聴きました^^。

ここの話題ではないけれど、ヴェールが 1 枚かかった音ながら、ヴェールの向こうはかなり高品位、なような感触が。

朝も 9 時近くになり、全アップデート完了→再起動。

この状態でも、.NET Framework のインストール状態がおかしかった(と思しい)時期より、かなり速く感じる。

基本がもう激オソ PC、激オソ 回線なので、たとえばブラウザの DL やレンダリングは遅いのだが、出来上がった画面を表示するのが以前は「ばあ〜」だったのが、「ぱっ」になった、という感じ。

マウスの移動やクリックへの反応もわずかながら敏感になった。

今朝だけでなく、もう日曜の夕刻から延々十数時間、.NET Framework 関係でパソコンに翻弄された。

結果は、PC も速くなって快適なのだが、プロセスはあまりに煩雑だ。

いや、まことに .NET Framework というのは、インストール失敗後にデスクトップが崩壊するオソロシ〜コンポーネントだということがわかったし、不具合があるままだと PC の動きそのも

のが遅くなるのだ、という体験(一般性なし^^;)でした。

それにしても、この恐ろしくも偉大なる .NET Frameworkがないと走らないソフトって、私の使うものでは、何があるんでしょう？

ツイート



チェック

シェア

0

目覚まし時計の修理。

| 2012.07.03 Tuesday | 雑記 | 03:12 | [comments\(4\)](#) | [trackbacks\(0\)](#) | - | - | by [Bluegourd /へうたむ](#)

今日はオデオの改造ばなしではありません^^。

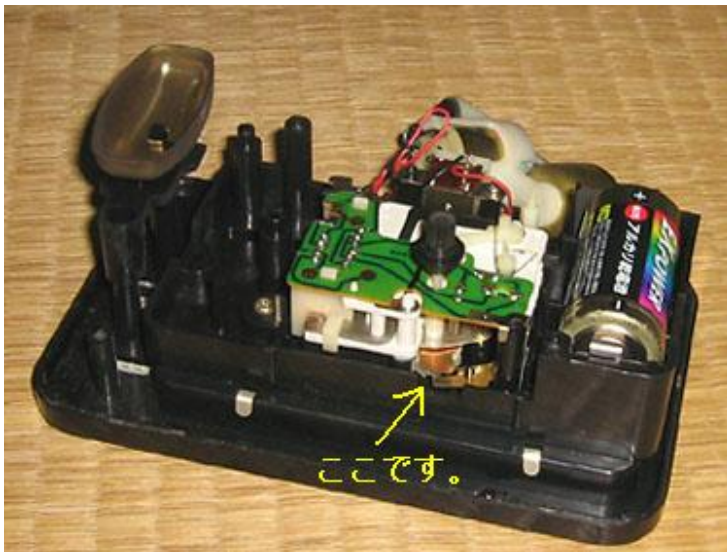
目覚まし時計は、枕元にはなく、寝ている横っちょの机の上が予備、メインは隣室:DKのほうに置いています。

このダブル・アラームのお蔭で、仕事の時間に寝過ごすことは今までゼロ(のはず^^;)。

このうち、寝室の机上の時計(予備のほう)のアラームが鳴らなくなりました。

乾電池は1.5V出るものの、テスターを当てるだけでは無負荷なので、実際には容量減りしていることがあり、とりあえず百均でアルカリを1本。

交換……う～ん、鳴んないなー。



この時計、シチズンのもので、リアパネルのシールには…全部写すと、「音の静かな連続秒針/CITIZENクォーツ/サイレントL/(8RA315)/¥5,300/MADE IN JAPAN」とあります。

¥5,300。うっへ～、たっけえ～。今のお財布じゃとても買えません^^。ま、シチズンは地元なので、地元の時計店でかなり安く買ってるはず。

それで、リアパネルをはずして、時計メカのハウジングから出ている、アラームのモーターへ行く配線をず～っとたどります。

途中で断線などしていたらやっかいで、ケーブルの向きでつながったり断線したり、もありうるし。

アラームのメカニズムは、セットした時刻になった時だけ通電することと、アラーム・ボタンがONになっているときだけ通電すること、の2点が実現できていればOK。

どうやらアラーム・ボタンのスイッチはOKのようで、スイッチ付近の電極間の導通もOKのよう。

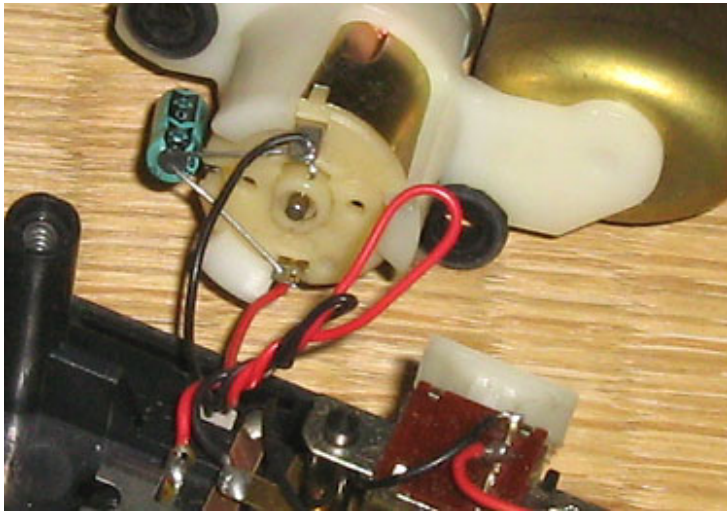
では？ ……時計メカと連動して、セット時刻になったらパチンと接触するはずの電極2枚

が、セット時刻にしても導通がありません。ここだなー。

てわけで、セット時刻にパチンと落ちる電極を受けるほうの電極がちょっと離れすぎていたので、ラジペンでくいと持ち上げ。

やり過ぎるとアラームス・ボタンONで常時鳴り続けるのでNG。

テストするといちおうOKでした^^。



通電すると、モーターが回転して、モーターに付いているバチ(?)が、ベルを高速でぶつたとき、“チリリリリリ~~”となるのです。

十一間に、1ヶ電解コンデンサーが入ってます。16V10 μ Fで、「KOWA」のブランド。時計そのものも日本製で、コンデンサーも日本製。

このコンデンサーは、モーターのパスコンになるのでしょうか。インピーダンスを下げる…ような必要はあんまりなさそうですが……こういうのまでデカップリングなんて言わないでしょうな~。

いや！モーターからの(“チリリリ~”から生じる^^)ノイズを時計メカの電源に伝えないようにする目的だとすると、まさにデカップリング。だとしたら低ESR品が……^^;。

これは問題なさそうだけど、これを Silmicとか KWIにしたら、いい音になるのかどうか…(爆)。

以下に置いていたゴキちゃん画像は、‘ひいた’という方もいらしたので、削除しました^^;。

ツイート



チェック

シェア

{ 0 }